

キリストの愛に満たされた交わりの教会 —素材としての光—

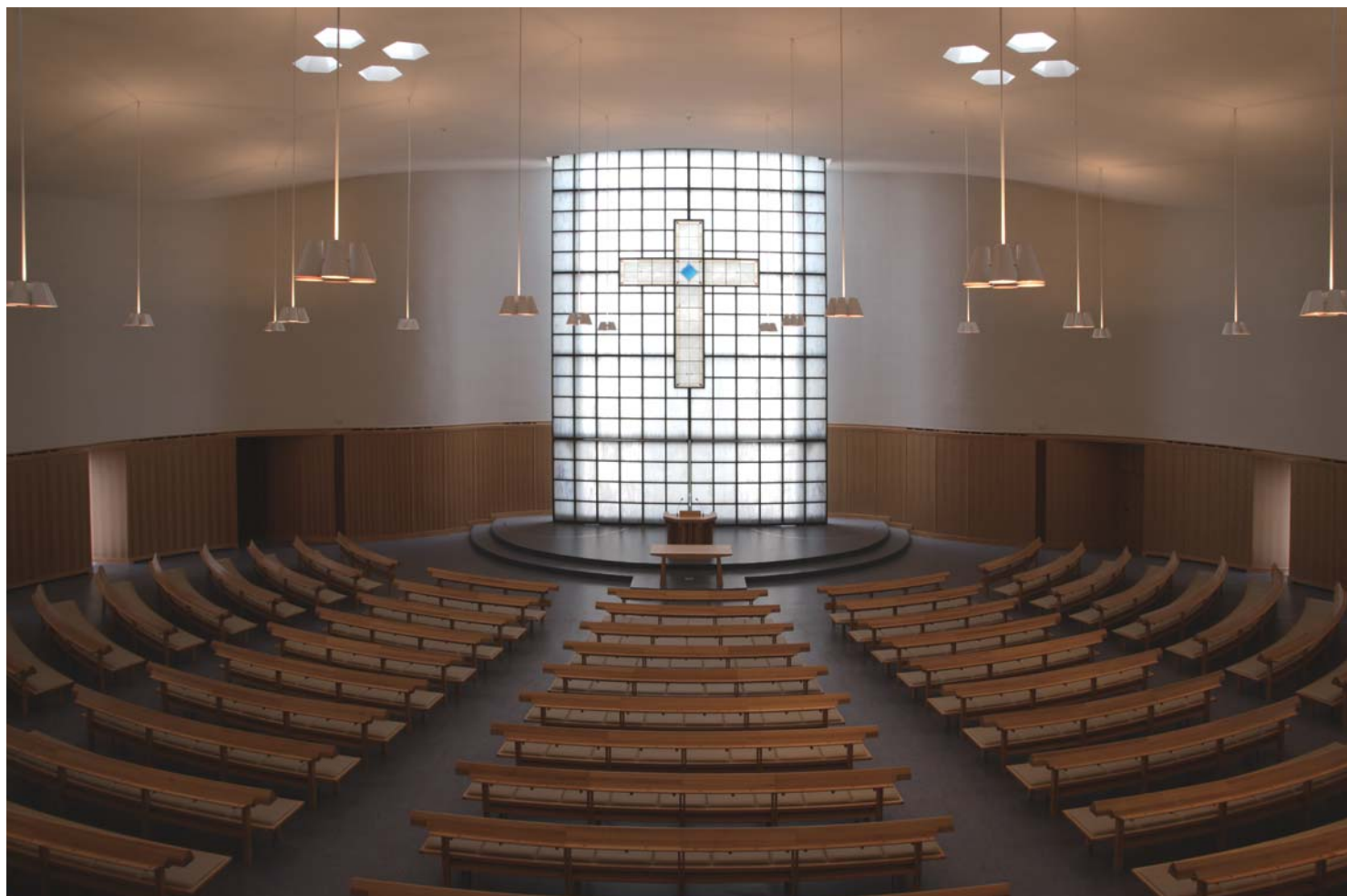
正会員 ○村上晶子*

* 明星大学理工学部教授／村上晶子アトリエ

Church has the fellowship filled with the love of Christ - Light as a material -

○ MURAKAMI Akiko*

* Prof.Meisei Univ./Akiko Murakami Atelier



さいたま市にあるプロテスタント教会である。指名設計コンペにより採択された。コンペでは、聖書の「ヨハネの福音書の第一章」が呈示され「ことば」「いのち」「ひかり」を、いかに空間に表現するかが与件として示された。また、21世紀に向かい宗派を超えた空間の表出として、自然に静寂を感じられるような空間も求められた。外観は正面に塔をかまえて、教会の存在を示している。この光の筒でもある塔は、小礼拝堂と主礼拝堂の内部に光を導く。「ことば」「いのち」「ひかり」を礼拝堂全体のコンセプトとして正面に大きな十字架のスタンドグラスを構えた。三位一体の神を現す十字架のスタンドグラスをもつ光壁を、交わりの中心である内陣正面に据えて、同時に礼拝者を照らしている。正面スクリーンは型ガラスと白い斑のスタンドグラスで構成し、光壁の背後にはガラスブロックと天窓からの自然光で充たされた空間から光が透過される。このスクリーンは洗礼式の時には十字架の下の部分が両側に開かれ、光にあふれた空間での式の様子を見ることができ、喜びに与ることができる。信徒席は両手で包み込まれるような空間が内陣を囲む。内陣に向かって緩やかに対面させ、床の勾配（1/20、1/16、1/18、1/25）と席の高さの変化で内陣に意識を集中させる計画とした。聖書のことばを大切にすプロテスタント教会であることから、講壇正面にも信徒席を配置した。聖書の言葉を大切にす要望への回答として、講壇の前に中央通路を設けず席を配置している。制限された敷地の中で500名の礼拝堂を作る解決として3階に礼拝堂を配置した。その直下の小礼拝堂はガラスブロックによる光の筒を介した柔らかな光溢れる空間である。主礼拝堂への大階段はゆったりさせて変化ある空間をつくった。階段沿いのスタンドグラスは「天地創造」に始まり「新天地」に至る旧約聖書に著されたメッセージが展開する。

所在地: 埼玉県
 主な用途: 教会
 敷地面積: 1,840㎡
 建築面積: 820㎡
 延床面積: 2,250㎡
 キーワード: 礼拝空間 光 ガラス

Location: Saitama
 Main Use: Church
 Site Area: 1,840㎡
 Building Floor Area: 820㎡
 Total Floor Area: 2,250㎡
 Keywords: Space for Prayer, Light, Glass

